

新設「デザインB」について

新たな価値を創造するデザインB専攻を設置します。

産業化や国際化から近年の情報化にいたるまで、人間社会をより良くする近代以後の様々な取り組みは、わたしたちに便利で豊かな暮らしを提供してきました。その一方で、近代化が生み出した環境問題をはじめとする様々な社会問題は、現在生きるわたしたちが将来を考えるにあたって重大な課題を突きつけてます。言うまでもなくデザイナーは、生産と消費に深く関係し、現在の社会問題における当事者の一人です。デザイン科では、このような社会が抱える課題に対してデザインとして何が提案できるかを考え、専門性の協働や横断性が求められる社会の要求に応える形で三専攻を一専攻に統合する「総合デザイン専攻」と既存の枠組みや概念を超えて、より実験的かつ先端的なアプローチで取り組む専攻「デザインB」を新設します。

デザインのあり方を問い続け実践する人材の育成。

学生は、異なるテーマで設定されたユニットを自分自身で選択しながら、既存のデザイン領域だけでは捉えられない様々な諸問題に取り組み、人間とデザインについての総合的で根源的な理解を進め、デザインの意味と役割を拡張することを学びます。これからの未来を切り開くプレーヤーとして、社会の中にある未知で未解決の課題を発見する能力を養い、従来のデザインの手法だけではなく、独自性、革新性と批評性を重視し、学生がコンセプトから実用的な解決方法までを自分たちで考え実行できるようになることを目指します。

専攻名であるデザインBの「B」は、「生成変化」を意味する、“Becoming”から頭文字を借りています。これは必要に応じて自分たちを組み替える私たちの姿の描写として、あるいはデザインの常に、新しく生まれ、進化し変化していく営みの形容として適切な表現であると考えています。それ以上に、デザインのアウトプットやデザインのあり方を「これである」と指定しないメリットがあります。新しいデザインB専攻では、常に変化に適応しつづけられるデザイン教育のシステムの構築と絶えず変化していく新しい社会実装の形を実験的に模索していきます。Bと省略したのは、あえて、学生が何を学べるかわからない環境に自分の身を置く、つまりは自分で自分の学びを主体的に創造していきたい、チャレンジしたいという資質をもった学生に、デザインB専攻を選択してもらいたいからです。デザインBでの学びを通して、不透明で分かりにくいこの現代社会を生き抜く能力、デザインする力を身につけてもらいたいと考えています。

※参考：デザインBでの年次ごとの授業の流れ
(専攻体制の移行期間は、新旧カリキュラムが並走します。)

	学部								修士課程				博士課程	
	1年次		2年次		3年次		4年次		1年次		2年次			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
	共通基礎		デザイン科基礎				専攻実技							
総合デザイン	総合基礎 実技	デザイン 基礎1	総合 デザイン基礎 1	総合 デザイン基礎 2	総合 デザイン 1	総合 デザイン 1	総合 デザイン 2	総合 デザイン 2	卒 制	総合 デザイン 研究1 特殊演習1	総合 デザイン 研究2 特殊演習2	総合 デザイン 研究3 特殊演習3	総合 デザイン 研究4 特殊演習4	総合デザイン領域 (領域研究演習)
デザインB			デザインB (xyz-1)	デザインB (xyz-2)			デザインB (0)(1)(2)		卒 制	デザインB 研究 1 特殊演習1	デザインB 研究 2 特殊演習2	デザインB 研究 3 特殊演習3	デザインB 研究 4 特殊演習4	デザインB領域 (領域研究演習)